

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Madreみらいテラス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発の児童と関わる事でリーダーシップや責任感、自立官に繋がっている。	児発と関わる時間を作っている。	児発の児童に何かを教える、一緒に取り組む時間をさらに提供できるように計画していく。
2	学習や療育でお互いのできなかった事や、できた事を話し、共感を持つ、同じように悔しかった気持ちが出出できる場を提供している。	学習や療育で悩んだり、躓いたときはスタッフ以外の人と話す場を作っている。(学習机などの配置で近い席にするなど)	得意な学習、療育など児童同士で教え合う、考える場を作る。
3	他校の児童、保護者様が情報を共有できるように取り組んでいる。	進学や進級に伴い、児童や保護者様が抱える悩みや不安を保護者様同士で共有できるよう配慮している。	施設内で保護者様と児童が話せる機会を設ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自閉症の児童の休養する場所が少ない。	簡易的な個室が少なく、相談室は個別で使用していると使用できない時がある。	個室や静かな空間を作る。
2	下校時間が異なるため、来所→療育・学習→遊びとなると、遅い時間の下校児童は、療育中や学習時に周囲の声で集中して取り組めない時がある。	集団療育のため、学習場所に他の児童の遊び声が聞こえてしまう。 療育にスタッフが付き添っている時は、声の大きさを落とすなどの声かけができていない。	授業のように療育時間を固定する。個室を積極的に使用し、2人～3人の小集団で学習できる機会を作る。
3	外が見える環境の為、興奮に繋がる児童がいる。	外が見えないように配慮したいが、外が見える事で落ち着く児童もいるため、環境設定が難しくスタッフで話し合いなどができていない。	外が見えなくても落ち着くような物をスタッフと情報共有し考え提供していく。(新しい興味や関心を発見する。) 外を見るのが好きな児童にも他の興味が湧く物を考える。